

羽檜 ~習慣は力なり~

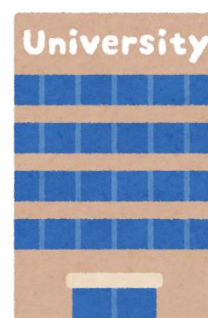
旭川永嶺高校
進路指導部通信
令和5年12月19日
1・2年次版第8号
(文責 吉田晋)

大学見学が行われました。

11月28日に北海道教育大学旭川校・11月29日に旭川市立大学の見学が予定されて
いました。インフルエンザの流行により、1年次生の参加と、旭川市立大学の見学は中止
となりましたが、2年次生による北海道教育大学旭川校への見学を実施することができま
した。

卒業生との懇談や大学の説明を受け、詳しく特徴を知るとともに、大学進学の意味や受
験対策に関する特別なお話も伺うことができました。教員志望の生徒
はもちろん、進学そのものへのやる気を高める機会となりました。

百聞は一見にしかず。実際に見ることで、具体的な進路についての
イメージを持つことができます。そうすると勉強にもはっきりした目



標を持つことができますよね。入試面接では、卒業後の将来と大学での学びの目標を伝え
ることが大きな要素を占めてきます。いろいろな場面に参加して、機会を活かしてくださ
い。

冬期講習

冬休みが始まります。

1年次生は高校での勉強が定着し、模試の受験も通じて、自身の目標が定まってきたこ

ろ。2年次生は受験準備の本格スタート。模試の点数などを元に自身の伸ばすところ、足りないところと具体的な対策を進めたいところです。

1月20日には1年次・2年次ともに模擬試験があります。具体的な対策を進める教科もあると思います。 講習→模擬試験→やり直し・・・のサイクルを回すことの意味を完成させよう。冬休みは「暑くなく、静か」なので勉強しやすいはず。じっくり勉強に取り組もう。

1 月模擬試験 そして1月20日には1年次・2年次ともに進研学力総合テストがあります。7月模試、11月模試、からの継続です。

ともに、1年間、2年間の高校生としての実力がはっきりする試験です。過去問での対策もできます。11月模試も活用して、勉強する分野を絞って対策してみよう。

2年次生 第一志望届の準備を！

前号でも触れられていた第一志望届（手引き P109～）の準備をしましょう。総合型選抜・推薦型選抜の受験の増加＝受験準備の早期化が進んでいます。総合型選抜もじわじわと動きが早まってきた印象です。3年次になってから志望理由書の準備を開始するということでは、その後の面談・面接試験本番までに、志望理由をじっくり深めて高める時間が足りなく感じるでしょう。冬休みを有効に利用し、学校研究と自己分析をしっかりと行いましょう。

また、保護者の方と志望先と進学の可否について、費用や奨学金などの具体的な内容を話しておきましょう。

冬休みの過ごし方

講習などは共通項目として勉強をすることとし

て、この冬休みをどう過ごすか考えてみましょう。夏と違い、オープンキャンパスはそれほどありません。出かけていろいろやってみるというより、じっくり自身の勉強や進路を整理し、次の年次へのステップとする冬休みにしましょう。

1年次生は、高校生の1年間で見てきた将来のことをしっかり調べてみよう。春がきたら、見学に行きたい学校などについて、今年の資料をもとに時期を想定しておくのも良いでしょう。

模擬試験の結果を活用し、苦手分野の克服も進めたいところです。

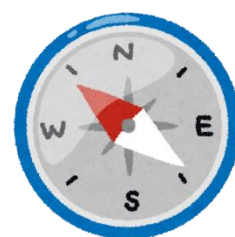
2年次生は、既出ですが、実際もうスタートラインです。通称「3年(次)生0学期」。

総合型選抜や学校推薦型選抜は準備開始です。そうなんです。

夏休み前には志望理由はほぼ完成してはなりません。学習面は、苦手克服は着実に取り組んでいてほしいところです。手元の参考書は1周目終了に向けてがんばろう。

最後に共通事項。「進路の手引き」を改めて開いてみましょう。

巻末の「3年間の進路の見通し表」をガバッと開いて、今の自分の場所に印をつけて見ましょう。見通し表はみなさんの地図です。今どこまで来



て、この先どのような道のりか確認しよう。